

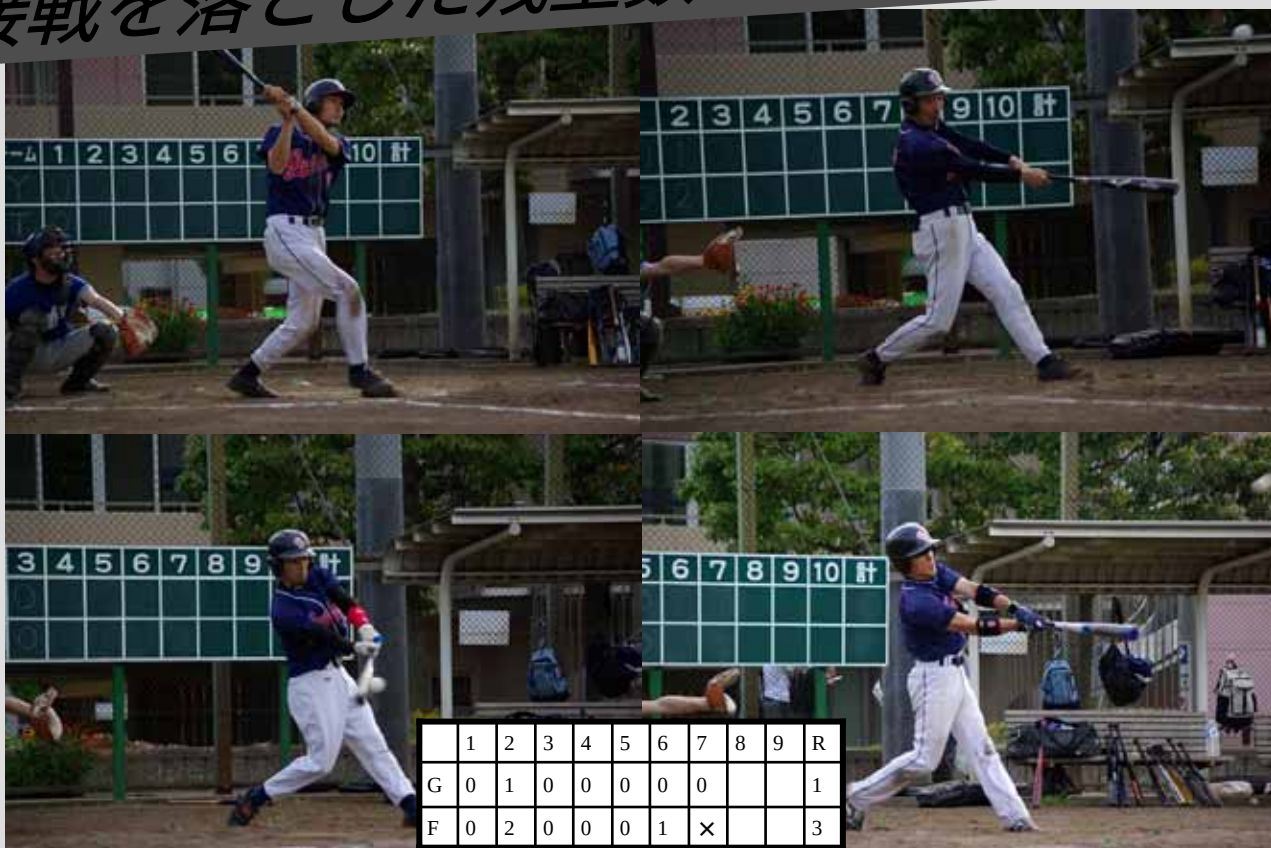
ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第11号 平成22年 5月 9日

好投政司をまたも打線が見殺し、しかし、本人今期初安打でにんまり・・・

接戦を落とした残塁数！



5／8（土）本日2試合目を新杉田に場所を移し、TMファイターズを迎えオープン戦を行った。結果は、3回あった絶好の得点チャンスを全く凡打に終わったのが響き、本日2連勝とならなかった。接戦であっただけに、非常に惜しい内容である。先発は、政司、我がチームは先行でゲームは始まった。初回3者凡退の後、2回の攻撃、バッターはこーすけ、大振り、早打ちであるが、最近打線上向きな彼のバットがついに火を吹いた。彼に取っては珍しい3球目をフルスイング！打球は、打った瞬間に柵を越えたと分かる打球であった。このHRは、今期チーム初のHRであり、メンバーもこれに便乗していきたいものである。先制をあげ、リードを広げたい我がチームであったが、3回には満塁の場面を、4回には走者を3塁に、更には、6回にも走者を2、3塁におきながら、得点出来なかったのは、今日の敗戦原因そのものである。特に3回においては、1死満塁であっただけに、非常に悔やまれる内容である。先発政司は、4回を投げ、5安打を許すものの、2点に抑えていただけに、今日の打線はまさに彼を見殺したと言っても過言ではないだろう。しかし、彼がマウンドに上がると、得点できないのは何故だろうか？さて、今日振り返って見ると、やはり失点内容にある。2点を先制された場面における守備である。飛球の処理は、やはりいかに玉下に入るかであるが、往々にして、予測がずれることは多々あるのが草野球の守備である。まさにこれが出てしまった感じである。前の人間が、後ずさりするよりは、後の人間が前に出てくる方が明らかに捕球の容易さから言って、楽であろう。しかし、そこには、声を出し、周囲を制御する事が大きく関わってくる重要な動作の一つがある。怪我は怖い、だから、声を出す。自分が取ると周囲に知らせる、これが無かったが故に発生したプレーの結果の得点シーンであった。現状固定ポジションではないので、周囲・前後との連携は難しいかも知れない。しかし、取るんだ、取れるんだ、だから声を出す、という方向に繋がれば、今日のような得点シーンは無かったであろう。難しい、でも難しいで終わらずに、周囲の連携と共に、点を与えないプレーを心掛けよう。それがうまいチームとの差である事というまでもないから・・・しかし、本当に今日は惜しいゲームであった。